



334複合地区スローガン
まごころと愛の奉仕
Serve with Sincerity and Love

334-B地区スローガン
「元気一番」明るい笑顔で
We Serve

岐阜西ライオンズクラブスローガン
さらなる発展を目指して、
歴史ある奉仕の精神を高めよう

2014年 8月 第二例会 780回
8月26日(火) 於 ホテルグランヴェール岐山 12:15～

例会プログラム

第780回 入会式例会			
「入会式」	司会	幹事	L.井ノ浦
1 新会員入場			
2 会長挨拶			L.乙部
3 ラペルピン贈呈			スポンサー
4 新会員宣誓			
5 新会員署名	立会人・会員理事		L.水田
6 新会員自己紹介			
7 ガバナーからの礼状及び記念品の贈呈			L.乙部
8 歓迎の言葉			L.水田
9 新会員委員会委嘱			L.乙部
「例会」			
	司会		L.篠田
1 開会ゴング	会長		L.乙部
2 国歌並びにライオンズヒムの歌斉唱			
3 ゲスト及びビジターの紹介	接待委員長		L.伊藤(隆)
4 慶祝行事(結婚祝)			L.乙部
6 会長挨拶			L.乙部
7 ゲストスピーチ並びに感謝状授与	豊住園 所長		小野木康仁 様
< 食 事 >			
8 幹事報告			L.井ノ浦
9 各委員会報告			
10 テールツイスター登場			L.杉野
11 出席報告	出席大会委員		L.日比野(晃)
12 会計報告			L.棚橋(弘)
13 閉会ゴング			L.乙部

会長・幹事報告

第780回 幹事報告	
1.	上半期リジョン協力金650円×45名=29,250円拠出
2.	リジョン合同青少年健全育成事業として600円×45名=27,000円拠出
3.	ガバナー公式訪問合同例会合同事業として、ジン・アイバンク募金500円×45名=22,500円拠出
4.	8月19日(火)インフォメーションをホテルグランヴェール岐山に於いて開催し、会長L.乙部、幹事L.井ノ浦、会計L.棚橋(弘)、会員委員長L.水田、出席・大会委員長L.棚橋(義)、新会員2名、ご夫人1名が出席致しました。
5.	8月25日(月)第1回ガバナー諮問委員会が岐阜グランドホテルに於いて開催し、会長、幹事、事務局の3名が出席致しました。
6.	9月5日(金)LCIFセミナーが大垣フォーラムホテルに於いて開催し、会長L.乙部、第一副会長L.山崎、幹事L.井ノ浦の3名が出席致します。

会計報告

ドネーション	23人	金額	135,000円
ファイン	人	金額	円
Boxファイン		金額	円
合計	23人	金額	135,000円

出席報告

会員数	95人
出席数	92人
出席率	96.8%

次回例会案内

日 時: 9月3日(水)12:15から
場 所: 岐阜グランドホテル
例会名: ガバナー公式訪問合同例会

慶祝行事

結婚祝 1日 L.黒瀬泰孝 2日 L.長谷部貞子
8日 L.岩田直美

会長挨拶



会長 L.乙部 幸夫

前回例会では鵜飼事業も開催し、皆様のご協力を頂きましてありがとうございました。
この夏は天気が悪く、当日も土砂降り(cats&dogs)の中でのアクトとなりました。
ドラマチックな鵜飼だったというような感想もいただいております。
本日は新入会員の皆様、おめでとう御座います。
これから岐阜西ライオンズクラブの一員として頑張ってください。



豊住園の小野木所長よりコンプレッサー寄贈のお礼に所員の2名と同伴にてお見えになりました。
作業風景の報告書と会長に園からの感謝状をいただきことになりました。小野木所長より新しい設備のより作業効率のUPと作業者の労働軽減につながっておりますとの報告がありました。

結婚祝



1日 L.黒瀬泰孝 2日 L.長谷部貞子
8日 L.岩田直美

入会式例会

新入会員自己紹介



L. 松本晃一
昭和40年1月11日
(株)マーク
取締役執行役員
「美濃加茂地区で環境看板や公共案内看板を制作しております。以前貴クラブにお世話になっておりましたが、社会貢献が出来ればと思い再入会いたしました。どうぞ、よろしくお願いたします。」



L. 和田淳
昭和43年6月30日
岐阜ソーシャル保証(株)
代表取締役
「自宅も会社も柳ヶ瀬中心に生活しております。貴クラブのボランティア活動に感銘を受け、お役に立ちたいと思い入会しました。どうぞよろしくお願いたします。」



会長挨拶



ラベルピン贈呈



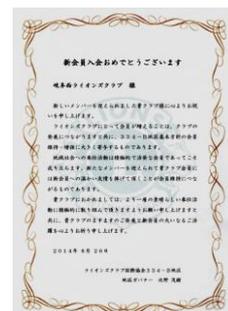
新会員宣誓



新会員署名



ガバナーからの記念品贈呈で
初ローア「ウォー」



会員理事L. 水田 誠 歓迎の言葉



本日ご入会のL.和田淳、L.松本晃一を迎え、岐阜西ライオンズクラブも総勢95名の結成以来最高会員数のクラブとなりました。我々ライオンズクラブは世界最大の奉仕団体として現在に至っております。

国際協会の代表的な活動の一つとして、プログラム視力ファーストを通じ、長年視力保護に取り組んできました。100年近くの間、世界中の何千万人もの人々を対象に失明予防、視力の回復、眼科医療の改善を目指す奉仕事業の実績を残しております。

近年では大変不幸なことでしたが、当クラブの結成日と同じくして発生した東北大震災において、いち早く震災復興支援事務局を立ち上げLCIFを通じ21億円もの支援がなされました。また、個々のクラブからも11億円を超える支援がなされました。

岐阜西ライオンズクラブにおいても、震災当年度の小林会長の時には熊沢会長式の元、気仙沼市の全中学生に1人当たり5000円相当の副教材の支給はじめ、総額1100万円の支援を行いました。

翌年の伊藤会長には気仙沼の中学生と協力し、約300本の電柱に海拔表示板の設置。また、これを題材にした地元中学生が作文で内閣総理大臣賞獲得など震災復興支援にも積極的に協力してまいりました。

また、地元岐阜においては今年で17年目になりますが、地域産業の活性化や親子の絆を深める目的で本年度は450名にのぼる方を“鵜飼観覧の夕べ”に無料招待をはじめ、多数のボランティア活動を行っております。

一個人ではなかなかできないボランティアもライオンズクラブを通じれば行政の光が当たらない所にも支援の手を差し伸べる活動や、地球規模でのボランティアにも参加できることとなります。また、同じ気持ちを持った多くのメンバーとの交流は何物にも代えがたい財産になることと思います。

このライオンズクラブに参加された両ライオンには、焦る必要はありませんが、クラブの趣旨を十分ご理解いただき多くのメンバーとお知り合いになり、クラブの内外でのご活躍を祈念しまして歓迎の言葉とします。